

Unit 5 A Japanese Summer Festival

本単元で育成する資質・能力

コミュニケーション能力, 主体性

日時 令和5年 9月 12日(火) 5校時
学年 第1学年 10名

1 単元について

(1) 単元観(教科の見方・考え方は太下線, 言語活動は波線)

本単元は、中学校学習指導要領外国語編(4)話すこと[発表]「イ日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようになる。」を受けて設定したものである。「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」とは、外国語によるコミュニケーションの中で、どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのかという、物事を捉える視点や考え方であり、「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」であると考えられる。

本単元の場面設定は、登場人物達が夏祭りに行き、踊りなどを楽しみ、その後自分達の体験をスピーチとして発表する展開となっている。扱い方次第で外国と日本の文化の違いについても触れることもできる教材である。言語材料としては、前置詞(名詞の後置修飾を含む)、動名詞、一般動詞とbe動詞の過去形(過去形については後のUnitで詳しく学習するためここでは表現としての扱いのみ)を扱う。自分の身近な体験について、感想もふくめ短い発表をすることに適した教材である。

(2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、以下の資質・能力の育成に重点を置いている。

【思考力・判断力・表現力】① コミュニケーション能力 ② 課題発見・解決力

【学びに向かう力・人間性】③ 主体性 ④ 自己理解

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の点に重点を置くものとする。

【思考力・判断力・表現力】 ① コミュニケーション能力

自分の好きなことや得意なことを整理し、互いの考えや気持ちを英語で伝え合うことで、コミュニケーション能力を養う。

【学びに向かう力・人間性】 ③ 主体性

ペアワークや発表原稿の作成を通し、相手に自分のことを知ってもらうために主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(3) 生徒観（調査結果から見る課題）

英語の授業にかかわる生徒質問調査

質問事項	肯定的評価
英語の授業に意欲的に取り組んでいる	100%
英語の授業は楽しい	100%
英語は得意である	40%

調査結果から本学級の生徒は、授業に対して、とても意欲的に取り組む一方で、英語の学習に関し自信が持ち切れていないことがわかる。そこで英語の学習の中で難しく感じることを再調査したところ、言葉の語順を覚えること(50%)が大きいことが分かった。また、4月に実施したNRTの結果(全国比 全国100)を領域別に見ると「聞くこと」95「話すこと」78「読むこと」107「書くこと」103であり、「話すこと」が他の領域に比べ極端に低いことがわかる。誤答の原因は、答えの選択肢(似かよった英文)を正しく選ぶことができないことであった。これらのことから、英文の構造や語順を正確に理解し、活用することに課題があると考えられる。

(4) 指導観（指導改善のポイント）

本単元では、物の場所や人の位置を表す前置詞、自分の経験や好きなこと、得意なことなどを詳しく説明するのに役立つ動名詞を学習する。特に前置詞は日本語と語順が異なり生徒にとって難しい内容である。ここでは、スライドの画面やアニメーションを工夫し、わかりやすく英語の語順、文の構造を説明していく。その後生徒が意欲的に取り組めるよう全体やペアでの口頭練習を工夫し、語句や英文がスムーズに言えるまで繰り返して定着を図る。動名詞の学習においても同様の工夫を行う。単元の終わりには、教科書本文をモデルに自分自身の体験を感想も含め発表する場を設定する。お互いの発表を聞き合う中で、英語で伝え合うコミュニケーション能力や英語の学習に対する自信を高めるよう指導していきたい。

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

○前置詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、自分の身近な体験や感想を英文で発表できる

(2) 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ主体的に学習に取り組む態度
①前置詞の形・意味・用法を理解している。(L・R・W) ②動名詞の形・意味・用法を理解している。(L・R・W) ③一般動詞、be動詞の過去形を含んだ表現を理解する。	①物の場所や人の位置を伝えるために簡単な語句や文を用いて伝え合っている。(L・R・SI・W) ②聞き手に自分のことを知ってもらうために、話すことを整理し簡単な語句を用いて発表している。(R・SP・W)	①物の場所や人の位置を伝えるために簡単な語句や文を用いてコミュニケーションを行おうとしている。(L・R・SI・W) ②自分のことを知ってもらうために情報を整理しコミュニケーションを行おうとしている。(L・R・SP・W)

3 指導と評価の計画

(全8時間)

次	学 習 内 容	評 価			
		知	思	態	評価規準 (評価方法)
	<p>本質的な問い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">外国語で表現し、伝え合うためにはどのような工夫が必要だろう。</p> <p>単元を貫く問い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">行った場所やそこで楽しんだことなどについて外国語で分かりやすく伝えるにはどうすればよいだろう。</p>				
1	前置詞を含んだ文の形・意味・用法を理解し文型を練習する。【本時】	◎			前置詞を含んだ文を理解している。 (ア①/発表・観察, 後日テスト) ○ 学習した表現を積極的に使っている。 (ウ①/ワークシート)
2	教科書本文を読んで, 物の場所や人の位置の要点を捉え, 内容を理解する。(Part1)	◎			新出単語や本文の内容を理解している。 (ア①/ワークシート) ○ 学習した表現を積極的に使っている。 (イ①/発表・観察)
3	動名詞を含んだ文の形・意味・用法を理解し文型を練習する。 情報の収集	◎			動名詞を含んだ文を理解している。 (ア②/後日テスト) ○ 情報を整理しコミュニケーションを行おうとしている。(ウ②/発表・観察)
4	教科書本文を読んで, 得意なことや好きなことの要点を捉え, 内容を理解する。(Part 2)	◎			新出単語や本文の内容を理解している。 (ア②/ワークシート) ○ 学習した表現を積極的に使っている。 (イ①/発表・観察)
5	過去形を含んだ文の表現を学習する。 課題の設定	○			一般動詞, be 動詞の前置詞を含んだ文を理解している。(ア③/ワークシート)
6	教科書本文を読んで, 体験したことの要点を捉え, 内容を理解する。(Part 3)	○			新出単語や本文の内容を理解している。 (ア③/ワークシート)
7	自分の発表原稿を作る 整理・分析			◎	発表の原稿を作る。(イ②/発表観察)
8	発表を聞き合う。 単元の復習をする。 まとめ・表現			◎	話すことを整理し簡単な語句用いて発表している。(イ②/発表・観察, ワークシート)

4 本時の学習

(1) 本時の目標

前置詞を含む文を組み立てることを通して、前置詞の意味・用法を理解できる。

(2) 準備物

ワークシート Gromebook

(3) 本時の学習展開

段階	○学習活動 ◆引き出したい生徒の言葉 (反応)	○指導上の留意点 ●配慮を要する生徒への支援	◇評価規準 ◆資質・能力 (評価方法)	配時
導入	○スタディギア ○フォームの単語テスト ○前置詞の導入 ・前置詞句 ・英文の導入	○スライドによる視覚支援で前置詞→前置詞句→英文とスムーズに導入する。		15
【本時のめあて】 どこに何があるか言えるようになるう				
展開①	○英文の口頭練習 ・スライドを使った口頭練習 ・イレイサーゲーム ・絵の中の物の場所を覚える	○方法を変え意欲的に数多くの口頭練習をさせる。 ●正確に英文が言えているか一人ずつ確認する。	◇前置詞を含んだ文を理解している。(ア①/発表・観察, 後日テスト)	15
展開②	○どこに何があるのか前置詞を使って英文をつくる。 ◆A gaming computer is on the desk.	○例を示し各自の理想の部屋を考えさせる。	◇物の場所を伝えるために簡単な語句や文を用いてコミュニケーションを行おうとしている。(ウ①/ワークシート)	15
まとめ	○ワークシートの提出 ○前置詞を含んだ文の形の再確認			5

(4) 板書計画

前置詞	英文
机 <u>の上に</u>	単数 A book is on the desk.
<u>on</u> the desk	複数 Two pens are on the desk.